

## 就活日誌

内定先⇒市役所

国際社会学科（女）

### 2011年6月

学内の公務員講座に通い始める。

私は県庁と国家一般職を志望していたので、専門試験対策として通うことにした。用事があって出席できない時でも、WEB フォローがあり、自宅で学習できたので結果的に通ってよかったと思う。（専門試験も受験し、且つ、予備校なしだとかなり強い意志と計画性が必要。）しかし、宇都宮市役所など、多くの市役所は教養のみでも受験可能なので、そのような場合は通う必要はないと感じた。

### 12月

ようやく勉強に本腰を入れ始めるが、このころの勉強時間は1日4時間ほど。全く範囲が終わらず焦り始める。

### 2012年1月

国家一般職説明会に参加。様々な省庁の説明会を聞き、モチベーションをあげる。

### 2~3月

ひたすら勉強！模試もいくつか受ける。

### 4~5月

全く勉強する気がなくなる。焦る気持ちはあるがやる気がなく、だらだら過ごす。

宇都宮市：一次不合格

教養のみで気軽に受けられるためか、社会人が非常に多いように感じた。集団面接だったが、やはり社会人は堂々としている。

### 6月

国家一般職一次：不合格

専門8科目のうち、2科目ほとんど学習できないまま受験。教養論文は生活保護について（当時、某芸能人のことで話題になっていた）で、こちらは書きやすかった。

県庁一次：合格

教養試験が非常に簡単だったが、専門試験が難しく、完全に落ちたと思った。結果的に合格していて驚く。

### 7月

周りの友達の進路が決まる中で、自分は公務員一本でいいのか悩み始める。リクナビ・

マイナビなどをのぞいてみる。

## 8月

県庁2次：不合格

一次面接⇒面接官との討論型の面接。

二次面接⇒一般的な面接。試験官によって役割がわかれているようだった。一番高齢の面接官は圧迫気味。

## 9～10月

民間も受けるか悩むが結局受けず。卒業論文を書きながら、市役所の勉強をする。

市役所一次：合格

教養簡単。専門難しい。

## 11月

市役所二次：合格

⇒就職活動終了！！

## 感想

筆記試験について：国家公務員⇒教養も専門もハイレベルだが、過去問に似た問題があり、勉強していれば解きやすい問題が多かった。専門試験は国家が一番解きやすかった。

県庁&市役所⇒教養試験は簡単だが、専門試験は癖があって解きづらいつと感じた。

面接について：とにかくキャリアセンターを活用すべし！さらに、公務員一本の人でも民間はいくつか受けるべきだと感じた。

質問されたこと：志望理由

学生時代頑張ったこと

公務員になったら何の仕事がしたいか

合併のメリットデメリット

町作り提案の内容

英会話ができるか（TOEICの点数）

国際学部ではどのようなことを学んだか

10年後の自分はどうなっているか

希望の部署に行けなくても大丈夫か

他にどの試験を受けているか

